

MEIKAI

vol.21
Dec. 2015

UNIVERSITY
URAYASU CAMPUS ALUMNI ASSOCIATION

Special issue

夢プロジェクト—2015レポート—

夢プロジェクト採用企画

オリンピックによるパネルディスカッション

～2020年 明海大学ができること～

〈座談会〉夢プロ企画の第1章を終えて



同窓会 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/Meikai.dosokai>



明海大学浦安キャンパス同窓会報



夢プロジェクト —2015レポート—

同窓会が100万円を援助し、学生たちの夢の実現を応援する「夢プロジェクト」。昨年このプロジェクトで見事審査を1位通過したのが、2020年、東京オリンピック・パラリンピックと「明海大学」と「浦安」が「どんな関わり方が出来るのか？」を探り、企画立案したいとプレゼンした学生グループ「チームレジェンド」だった。審査会から1年が経ち、プロジェクトはどのように進められてきたのだろうか。先日行なわれたイベントの様子と、メンバーによる対談をお届けする。

Contents 01-1

夢プロジェクト採用企画

オリンピックによる パネルディスカッション

～2020年 明海大学ができること～

明海大学にオリンピックを迎えて

明海祭最終日となる11月1日、夢プロジェクト実施団体チームレジェンドが立案した企画「オリンピックによるパネルディスカッション」が開催された。会場には地域住民を中心に100名ほどの聴講者が集まり、バルセロナオリンピック競泳女子200m平泳ぎ金メダリスト・岩崎恭子さんと、陸上400mハードルで3度のオリンピック出場経験を持つ山崎一彦さんの話に耳を傾けた。

現役時代の映像を交えてのパネリスト紹介に続き、コーディネーターの北原淳同窓会長が選手時代のオリンピックの思い出についてお二方に尋ねると、「見るものすべてが新鮮で、選手村で憧れの選手に出会えたことは感動しました」と岩崎さん。山崎さんは「選手村で多くの友人ができ、今でも交流が続いています」と生まれた絆の深さに触れた。そして話は現役引退後、選手から立場を変え訪れたオリンピックの話題へ。「報道関係者として現地を訪れたときに感

じたのは、どの開催国も国を挙げオリンピックに対応しているということ。街にはボランティアの方が大勢いて、分らないことがあればすぐに誰かが飛んで来てくれる。ゲストを迎える環境ができあがっていることを感じました（岩崎さん）

「私もボランティアの方々の優秀さに毎回驚いています。特に2008年北京オリンピックでは、当初、報道等で言われていたイメージを覆す素晴らしい対応に感動しました。また、2012年ロンドンオリンピックでは、地元選手が金メダルを取ったことで急遽セレモニーの順番が変更され、イギリスの国歌斉唱で会を終えたいです。マニュアルだけでなく、その場に合った臨機応変な対応も必要だということを感じました（山崎さん）」

オリンピックでは当然競技自体に注目が集まるが、それ以上に重要になってくるの



が選手や観客を取り巻く環境だ。お二人は選手・関係者両方の立場からその大切さを肌で感じたと言う。

2020年に向けて

そして、いよいよ話は本題へ。「東京オリンピック・パラリンピックに向けて、明海大学と浦安市民はどんな関わり方ができるか」という議論が始まった。ここでまず、チームレジェンドから明海大学のポテンシャルを施設面(ハード)と教育面(ソフト)の両面から紹介した。明海大学から晴海エリアの選手村へは、開催期間中に設けられる計画のある専用レーン(*)を使えばわずか15分で行くことができる。また、大学内には最新の人工芝を使用したサッカーグラウンドや400mの陸上トラック、バス



岩崎 恭子 (いわさき きょうこ)
2度のオリンピック出場を果たし、14歳で出場した92年バルセロナオリンピックでは、競泳女子200m平泳ぎにおいて日本最年少で金メダルを獲得。現在は水泳の指導と水泳の楽しさを伝えるべく、各種メディア・イベントへの出演や執筆、講演活動など精力的に行なっている。

ケットコートが2面取れる体育館、温水プールなどがあるため、明海大学は選手たちの練習場所としてハード面での機能を備えている。さらに外国語学部やホスピタリティ・ツーリズム学部など、英語や中国語運用能力及びホスピタリティ・マインドを身につけた学生たちは、海外選手のサポートも問題なく行えるという点でソフトの面の貢献も充分期待できる。チームレジェンドのメンバーは「専門分野を学ぶ自分たちには、サポートできることがたくさんある。また、学生だけでなく、地域の皆さんも浦安市民として何ができるかを考えるきっかけにして欲しい」と訴えた。

これに対してパネリストのお二人は、オリンピックの試合直前は、選手村ではなく近隣のホテルなどを利用して練習に集中する選手も多いことを挙げた上で、「明海大学の立地条件は抜群。練習施設も豊富で地域の人にも開けた環境なので、事前合宿地に最適なのではないかと賛同。さらに「大学や市民の資金をハード面に投入するだけではなく、ソフト面の力、ボランティアなどとしてできることがたくさんある」とも語つ

た。順天堂大学で教鞭を執る山崎さんは、2015年8月に行なわれた世界陸上北京大会で、同大学がアメリカチームの事前合宿地となった時の経緯を振り返りながら、「誘致するということは、直接の関係者のみならず、街全体がどういうホスピタリティをもつて対応できるかが大事」と話した。最後に、東京オリンピック・パラリンピックに期待することについて、お二人はこう締めくくった。

「以前、海外で合宿を行なった際、健常者と障がい者が同じ空間で練習している姿に感銘を受けました。日本はまだまだそういった部分が遅れているので、ぜひオリンピックに向けて真の心のバリアフリーを目指していただきたい。また、競技の強い国にはそういった点も含めてスポーツ文化が根付いているので、日本にもそのような文化が根付くことを願っています(岩崎さん)」「日本のスポーツ界は育成システムがまだまだ整っていないと日々感じています。ですから、東京オリンピック・パラリンピックに向けてまずはそこをしっかりと固めることで、競技結果に加え、多くの方にスポーツ界の育成という部分も知っていただける

ようにしていきたい。メダルの数だけでなく、そこまでの過程、育成というところもスポーツとして見ていただけるオリンピックになればと思います(山崎さん)」「チームレジェンドのメンバーにしっかりと意見をくださった岩崎さんと山崎さん。今回のディスカッションは、2020年に向けて何ができるか、何をすべきか、そこに向かう道筋、ヒントを与えてくれる貴重な機会となったのではないだろうか。



山崎 一彦 (やまざき かずひこ)
バルセロナ、アトランタ、シドニーオリンピック陸上400mハードルに出場。95年世界選手権で種目初の日本人ファイナリスト。現在は順天堂大学スポーツ健康科学部准教授、日本陸連強化副委員長、2020東京オリンピック・プロジェクトチーム・ディレクターを務める。

Brief review

ディスカッションを終えて

企画の感想をお二人に尋ねると、「1時間があっという間で本当に短く感じました」と山崎さん。夢プロについても「こういった試みはすごく刺激になるので、未来の学生たちにしっかり引き継いでいって欲しい」「学生たちのモチベーションにつながる素敵なこと」とお褒めの言葉。岩崎さんからも「明海大学浦安キャンパスは周囲に開かれた素晴らしい環境で驚きました。ぜひ東京オリンピック・パラリンピックに向けて地域の方たちと共に街づくりをしていってください」と2020年に向けお二人から激励の言葉をいただきました。

* =選手村～各競技会場間の道路に「オリンピック・レーン」として大会関係者車輛専用の車線設置が検討されている

〈座談会〉夢プロ企画の 第1章を終えて

企画実施学生グループ
「チームレジェンド」

×

北原 淳 同窓会長

紆余曲折を経て企画実現へ

デイスカッションを終えたチームレジェンドと北原同窓会長に、企画実現までの道のり、今後の活動について話をうかがった。
—— 本日はお疲れ様でした。終わってみていかがでしたか？

チームレジェンド（以下、レジェンド）達成感があります。今日までがすごく長くいろいろな山もあったので、少しホッとしています。ここに至るまでは周囲の方々の協力がなければやり遂げることはできなかったと思います。

北原同窓会長（以下、北原） ちょうど1年前に彼らのプレゼンを受けた時、「この学生たちだったらやり遂げるんじゃないか」という雰囲気伝わって、すごく印象的だったんですよ。正直、企画内容が洗練されていたかという点と決まっていたかという点と決まっていたかという点と決まっていたかという点が、最初の思いがあったからこそやり遂げられたのだと思っています。

レジェンド 実はデイスカッション企画が本格的に稼働し始めたのは夏頃で、その前

に「危うい時期」を迎えていたんです。もともとは、今回のデイスカッション以外に、スポーツ選手と一緒にプレーをしたり、練習を見せようという1日がかりの企画を考えていました。だけどそうなるか選手の方の人数も必要ですし、場所の確保も難しいということ、問題がたくさん出てきてしまつて……。そうこうしているうち、選手の方のアポイントすら取れないような時期になつてしまひ、これはまずいということとで急遽内容を絞ることになりました。

北原 パネルデイスカッションは、話を聞いて気づきを与えるだけのものが多いじゃないですか。でも、それだけではありきたり、デイスカッション後に市民や学生を交えた意見交換会を行い、実際のアクションプランを立案し、実施に繋げていくのはどうかという話をしました。

—— この後に控えている、学生・市民・教員らによる11月の意見交換会、その内容を発表する12月の報告会のことですね。

レジェンド 先ほど会場で回収したアンケートで意見交換会に参加したいという方を募り、その方たちと今日の話を踏まえ実



際何ができるかということを検討していく予定です。卒業後は今まで通り関わっていくことは難しいかもしれませんが、後輩たちと連携していき、私たちが始めたことが2020年に「アクション」として届いた時が最終的なゴールかなと。アンケートには賛同してくださる方の書き込みもたくさんあり、少し涙が出そうになりました。

—— 同窓会も引き続き連携を取りながら進めるのですよね？
北原 もちろん一緒にやっていきます。仕事には「プラン・ドゥ・チェック・アクション」というマネジメント手法がありますよね。今日のデイスカッションではドゥまでをやつて、アンケート集計でチェック、そして今度はまた意見交換会を踏まえて再度プランをする。短期間でこういった行程を踏むというのは、すごく有意義な経験になると思います。

夢プロの幅が広がり未来が想像できた

—— 企画を進める中で、レジェンドの皆さんにとって印象的だったことは？

レジェンド 企画を立てるということ自体が初めてで、何も分からない状況でスタートしたのですべてが勉強になりました。私たちはもうすぐ社会人になります、その糧となるような経験がたくさんできました。中でもスケジュール立が最も大切だと実感し、前々からもつと計画通りに動いていけば、さらにいいものができたかもしれないとも感じています。

北原 僕らが夢プロをやっている理由の1つに、夢プロによって学生たちを引き上げ、社会に出た時に少しでもその経験が役に立ってほしいという思いがあります。それを今回実感してもらえたのであれば、願ったり叶つ



学生プロフィール
(後列) 英米語学科 実川 葵 日本語学科 伊藤 俊太
(前列) 日本語学科 大塚 笑美 英米語学科 菅原 綾香

たりです。今回のようにギリギリのタイミングでリスタートをかけるというのは、大人だったら尻込みして辞退するという選択肢をとるケースだったかもしれません。若さですね(笑)。僕ら同窓会は、寄り添いながらも付きすぎず、少し離れたところで見ていくスタンスです。プロジェクトが進行していく中で自然と彼らの中の役割分担も明確になっていったり、徐々に洗練されていったと感じました。今回の取り組みは夢プロのいい事例になったので、今年の夢プロ審査会の結果もまた気になるし、さらに2020年に最終的にこれがどういう「アクション」になっていくかというのも楽しみです。同時進行しているもう1つの夢プロ採用企画「利尻札文広め隊」も、今後、ゼミで継承していくという話もあり、夢プロの幅が広がり未来を想像できたという感じがしています。夢プロはずっと続けていきたい事業なので、参加した皆さんがこの経験を後輩たちに伝えていって欲しいですね。

Contents 01-3

夢プロ採用企画 「利尻礼文広め隊」



昨年、夢プロジェクト
審査会において、ボラン

ティアツアーで利尻礼文の地域活性化を目指したいとプレゼンした「利尻礼文広め隊」。チームレジェンドに加え、彼らの企画も甲乙つけがたいという意見で審査員は一致、2企画が採用となった。今年2・5月にメンバーは利尻島を訪問。ガイドセンター

や観光協会などで利尻島観光の実態について話を聞くなど、実地にてツアーの下見を行なった。そして、8月に5泊6日で学生限定利尻島ボランティアツアーを実施。昆布漁や外来種駆除の作業手伝い、利尻産ウニのPRイベントへの参加など、地域振興の現場に触れた。参加した学生たちは「とても貴重な経験を楽しく体験することができた」と一様に満足した様子だった。利尻礼文広め隊のメンバーは「限られた時間と予算の中で、いかに質の高い活動ができるかという事を考え実行していったことで、以前より積極的
に行動する気持ちや向上心が身についたと感じています」と語った。



Contents 01-4

2016夢プロジェクト 審査会

明海祭期間中、今年も夢プロジェクト審査会が行われた。国内で使われなくなった楽器をNPO法人を通じ海外に提供するという『SPIRITに音楽を』、大学での朝活を促進する『夢叶え隊』など様々な提案の中、今回は、台湾の大学で吹奏楽の演奏を行い異文化交流を図るという『吹奏楽の旅』音楽は世界をツナ

グ 未来へ1・2・JUMP!』が採用された。台湾からの留学生との触れ合いのなか着想したという本企画は、まず台湾での演奏会を足掛かりとして海外の楽団等とのネットワークを築くこと。さらに、それを

土台に発展的には東京オリンピック・パハリピックでの演奏イベントに何かしらの形で参加することまでを目標としている。段階ごとの達成度合いが見えやすいこと、オリンピックでの演奏イベントという長期的な目標設定など、企画・プレゼンとも内容がしっかり練られていたことが評価されていた。採用となった。本企画は今後、同窓会がさまざまな支援をするにも、同窓会FBサイトなどで随時進捗をレポートしていく。



Contents 02

Case Study

ビジネス交流会
コラボレーション事例

マーケティングコンサルタント

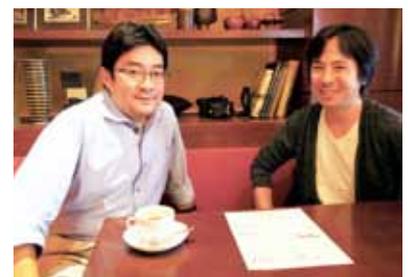
×

WEB プロモーション

交流事例を体現

3万人を超える明海大学OB・OGの輪を有効活用し、ビジネスを生み出そうという「ビジネス交流会」。その輪の中から今回、また新たな事例が誕生した。

カードゲームを中心とした玩具マーケティング関連業務を行なう株式会社ホロスエンターテインメント代表取締役・鯨島伸一氏と、Webプロモーションを手掛ける株式会社サイコロワークス代表取締役・加藤賢氏。経済学科支部の代表を務める鯨島氏が、加藤氏を同窓会の役員に誘ったことを機に二人は新しい間柄となった。当初は互いにビジネスで関わり合うことになると思っていなかったそうだが、同窓会理事の集まりで顔を合わせるうち、次第に仕事の話をするようになったという。鯨島氏はトレーディングカードゲームのマーケティングコンサルタントとして、販売促進からイベントまで幅広く



鯨島 伸一 (さめじま・しんいち) 株式会社ホロスエンターテインメント代表取締役 第1期卒業生 経済学科
加藤 賢 (かとう・けん) 株式会社サイコロワークス代表取締役 第3期卒業生 経済学科

■次回ビジネス交流会の詳細は本冊子p12をご覧ください



明海祭最終日にあたる11月1日(日)の午後、毎年恒例となった「明海大学浦安キャンパス同窓会パーティー」が今年も明海クラブ・ニューマリンドで開催された。パーティーには明海大学のOB・OGの家族も参加できるとあって、会場には例年に増して子ども連れの家族の姿が目立ち、賑やかな雰囲気の中で会が行なわれた。冒頭で壇上に上がった北原淳同窓会長からも、「初期の頃は仲間同士が集まるきっかけになっていたこの同窓会パーティーですが、年を重ねるごとに参加者の皆さんが結婚して家庭を持つようになり、ご家族で来る方が増えたように思う」と挨拶があり、改めて同窓会の広がりを感じさせるパーティーとなった。佐々木康史副学長の乾杯の挨拶で始まったこの日の参加者は、総勢367名。会場にはそれぞれの学部ごとに歓談用のテーブルが設けられ、各学部の教職員も駆けつけた。初めて参加したというOBは、「想像していた以上に賑やかで、活気のある雰囲気に驚いています。普段なかなか会えない同窓生たちと話せるいい機会ですし、来年もこのような会があればぜひ来たい」「明海祭の期間中にキャンパス内で開催されるので、学生時代を思い出してより気持ちが盛り上がります」「食事美味しく、とにかく子どもたちが喜んでいて、家族皆で来た甲斐がありました」とそれぞれ満足げな表情を見せていた。近況報告や思い出話に花を咲かせたパーティーは2時間ほどでお開きとなり、参加者は名残惜しそうに会場を後に。1年後の再会を誓い合い、楽しい宴は盛況のうちに幕を閉じた。

■参加者

- 【副学長】 佐々木康史
- 【外国語学部】 遊佐昇・柳澤好昭
- 津留崎毅・佐々木文彦・中川仁・高野敬三
- 荻原稚佳子・木山三佳・田鍋桂子
- 西川寛之・原和也・桑田良望
- 【経済学部】 下田直樹・軍司裕昭・廣部恒忠
- 中澤栄一・岡村龍輝・友利厚夫
- 【不動産学部】 中城康彦・斎藤千尋
- 表明榮・本間勝
- 【HT学部】 草野健・中井延美
- 【総合教育センター】 米村朋子
- 【事務部】 中山浩之・竹部正樹・鈴木洋州



Message

恩師からのたより



不動産学部教授
阪本一郎

学んだことが役立ったことはあるでしょうか。おそらく学んだ知識が仕事に使えたという機会を持った人は、役立ったと思うことでしょう。でも、多くの人は、役立ったかどうか分からないと答えるのではないのでしょうか。それどころか、まったく役に立たないと断言する卒業生がいることを知っています。たしかに、学んだことを覚えていないかと訊かれると、自信ないと思えます。

知識は使わない限り忘れず。しかし、教養はものの考え方ですから、忘れることはできません。むしろ人の一部になってしまいます。まるでエイリアンかウィルスのようで怖いですね。私は、大学時代の皆さんに不治のウィルスをうつしてきた極悪人といわれてもしかたないのかもしれない。では、悪人らしく皆さんを悩ませるため、問題を出します。答えてみてください。

第一問…都心に近いほど地価が高くなり住宅価格や家賃が高くなるにもかかわらず、郊外より所得の低い人が多く住んでいるのは何故でしょうか。

第二問…都心に近いほど密度が高くなり環境を守る規制が必要になるにもかかわらず、密度の低い郊外より規制が緩いのは何故でしょうか。

答えは明海大学のホームページから私のメールアドレスを探して送ってください。回答者が多い場合は大変なので返事を出しません。少数の場合は、一杯飲みながら解説をするというのはいかがでしょうか。

私が明海大学不動産学部に着任したのは1994年4月でした。それまで東京工業大学で教えていましたが、不動産学部初代学部長の石原舜介先生の要請に応じて職場を変えた訳です。石原先生は大学時代の私の師でありました。それから20余年、今度私が不動産学部学生の「師」の立場で過ごすことになりました。それが学生にとつてどうであったかは気になるところですが、とにかく大変な責任を負ってきたことは間違いありません。

人は、物事に興味を持ち、考え、判断し、行動することを繰り返して生きていくのですから、私の「師」としての基本は、学生たちの興味を持つ対象が広がり、そして自分で考えることが自然に深まっていくようになることにあります。私の専門は都市計画ですが、直ちにビジネスの現場で必要とされる知識だけでなく、都市を見る目の広がりを持つるように最も努力を注いだのはそのためでした。別の言い方をすれば、都市の教養を教えようとしてきたとも言えます。

卒業生の皆さんは今どのように暮らされていますか。その生活の中で、明海大学で

Report

会計報告

セキュリティの関係上、ホームページ上には公開致しません。

経済学科支部

絆を深めるために！

代表 鮫島伸一

経済学科支部同窓会も5年目を迎えております。卒業生の皆様も、様々なシーンでご活躍のことと思います。私事となりますが私もちょうど5年前に自立し、必死に会社経営をしております。経済学科支部の同窓パーティーで知り合った何人かの方々との交流から、今では信頼し合えるビジネスパートナーができました。たとえ学生時代には面識がなくとも、同窓ということで、何となく親しみを感じることができ、その新たな繋がりから、新たなチャレンジを共にすることができる喜びに感謝しています。

これからも、今まで以上に皆さんとの交流を深め、同窓生同士の絆を深めていくことを目指し、役員一同努力して参ります！今後の経済学科支部同窓会の活動に、ご期待下さい。

緑風会(不動産学部支部)

緑風会初、秋のBBQ交流会

代表 松島孝夫

10月24日、浦安市総合公園デイキャンプ場において、秋のBBQ交流会を開催いたしました。当会では、卒業生同士が交流できる場を積極的に提供するべく年3回の懇親会を実施していますが、平日夜の開催が多く、参加できない方もいるとのことなどから、土日祭日の昼間に開催できる交流会として初めて実施。当日は卒業生だけでなく、そのご家族も参加いただく中で、それぞれの近況報告や学生時代の懐かしい話に花が咲きました。今後も交流の場を積極的に提供していきますので、皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。



明翔会(ホスピタリティ・ツーリズム学部支部)

学部設立10周年を迎えて

代表 山下純八

2005年にホスピタリティ・ツーリズム学部が設立されて、今年で10周年を迎えます。ひとえに皆様のご尽力により、学部、同窓会の継続的運営ができていることに、この場を借りて深く御礼申し上げます。学部設立10周年となる節目の年に、本年度も感謝の意味を込めて同窓会パーティーを企画しています。新天地でご活躍されている皆様におかれましてはご多用のことと存じますが、有意義な交流の場としてご来場いただければ幸いです。我々同窓会は昔も今も変わらず、皆様に「思い出」と「繋がり」を提供できるように努めてまいります。



日本語学科支部

盛況のうちに幕を閉じた同窓会

代表 平山悦子

今年度の同窓会は会場をホテルエミオン東京ベイに移し、明海祭同日に開催。当日は41人の同窓生やご来賓の先生方が集いました。参加者が近況を語らう中、谷光忠彦名誉教授からは同窓会開催やその継続意義について、ご趣味の浪曲を交えながらお話しいただきました。また今年は、歌手で女優の同窓生・甲斐知恵子さんによる歌のステージや、欠席された方々からのビデオメッセージも放映。今後も同窓会パーティーを継続しつ



つ、日本語検定など各種検定の受験対策や小規模イベントなども恒例とし、交流の場を増やしていきたいと考えています。

明英(英米語学科支部)

次の10年に向けて

代表 川部 翔

明英は、皆様のご支援のおかげで無事10周年を迎えることができました。6月には懇親パーティーを実施し、例年以上に盛大に行うことができました。託児のサービスが好評で、お子様がいらっしゃる会員の方もゆつくりと過ごしていただけたようです。明英では、パーティー以外にも12月に英語教育セミナー、3月には教育実習事前相談会を行っています。また、12月にはクリスマスカード、3月にはニューズレターを会員の皆様にお送りしています。今後はより多くの会員の皆様に参加していただけるような事業の計画と実施を考えてまいります。



中国語学科支部

価値ある10周年に向けて

代表 川島信一

今年は調整不足ということもあり、残念ながらHSK(漢語水平考試)補助、同窓会パーティーの2つの業務のみを実行しています。

来年、中国語学科同窓会は10周年を迎えます。役員会でも記念に何かできないか議論を続けています。今年度の同窓会パーティーは2月7日に開催いたしますので、この場でも皆さまの声を積極的に聞いて価値のある10周年にしたいと考えております。

毎年、荒天に見舞われやすい時期ですが、皆さまにお会いできることを楽しみにしています。



Report

明海祭団体表彰

明海祭期間中に展示発表を行った団体の中から優秀団体を決める「明海祭参加団体表彰式」が、明海祭最終日に行われ



た。今年は生け花を展示した小原流生け花サークルが最優秀賞を受賞。秋色をテーマにした色鮮やかな作品に、多くの来場者が足を止めた。部長の福田実央さん（英米語学科3年）は「明海祭のテーマであるカラフルをイメージして生けた共同作品が、生け花を身近に感じられたと評価されました。嬉しいです」とコメント。続く優秀賞には、日本語と英語を交えたパペットショーを披露したゼミのPUPPET BUDDYが選ばれた。生け花サークルと代表を兼任する福田実央さんは、「準備は大変でしたが、当日はお子さんから高齢の方まで多くの方たちに楽しんでいただき、本当に良かった



です」と話した。さらに同窓会賞には、写真サークルのMemoriesが選出。キャンパスや浦安の風景を1年間かけて撮りため、当日は約1,000枚もの写真が飾られた。代表の安西正輝さん（英米語学科3年）は「今後はもっと大きな展示を行ない、写真で思いを伝え続けたい」と抱負を語った。

8月6日から7日にかけて、サッカー部の学生・スタッフ全員で「富士登山」を敢行しました。今回、部として富士登山を行おうと思った理由は、年々部員の数が増加する中で、サッカー部のテーマである「For the team」の精神や「チームで一丸となって団結する」といった意識を、改めて強く持って欲しかったため



です。サッカー部として、サッカー以外のことを全員で行った経験が今までなかったため、簡単には到達出来ないような目標設定を考えた時に、この「富士登山」を思いつきました。

参加した全員が富士登山初体験だったため、最初は期待と不安が入り交じる中でのスタートでした。登り始めこそみんな元気な様子を見せていましたが、徐々に行く手は厳しい山道となり、途中で急な雨に降られるなどして、みんなの表情が段々と険しくなっていくのが分かりました。また、宿泊先となった山小屋で

Contents 08 Club

サッカー部

は寝返りが打てないほど狭い中での就寝となったため、ほとんどの学生・スタッフが眠れなかったようです。そんな厳しい環境の中での登山だったので、登頂した時は、歓喜というよりも全員がホッとした表情だったように思います。しかし、学生・スタッフ全員で御来光を拝めた時は感動しました。

富士登山を終えて、どこまで団結心を養えたかどうかは分かりませんが、学生たちの心には何か残るものがあったのではないかと考えています。学生たちが将来結婚して自分の家族を持った時に、学生時代のこういった思い出話ができるのも良いことなのではないでしょうか。

(監督 八津川義廣)

Report

2015年度代議員会

5月16日、浦安キャンパスにおいて2015年度同窓会代議員会が開催され、代議員46人と教職員14人が出席した。

まず始めに北原淳同窓会長と安井利一学長が挨拶。引き続き、同窓会の事業報告や決算報告、新役員の選出、新年度事

業計画、予算案などが審議された。

2015年度の会長には北原会長が満場一致で再任され、引き続き同窓会の舵取りを行うことになった。また、同窓会の主体事業として「広報」「連絡会」「支部」「財務」に加え同窓会25周年（2017年度）に向けた中期ビジョンを柱に執行する「25周年記念事業」の6項目及び協力

援助事業として「学生支援」の活動が認められた。



Contents 10

Topics

コミュニティサポート事業

【明海大学 OB BBQ 同好会】

2015/04/29 ■浦安総合公園

4月29日、浦安総合公園において明海大学OBによるバーベキューを開催しました。この集まりは、もとは大学を卒業してからも浦安近辺に住み続けている数人のOBが毎週水曜日の夜に「水曜会」として集まる会がスタートでした。



Contents 12

Club

テニス部

今年度活動報告について

昨年まで、我がテニス部は常に不戦敗という要素を抱えて戦っていましたが、今年度は1年生3名の入部があり、リーグ戦に必要な最小限のメンバーが揃ったことで、部員にとっても昇格への大きなモチベーションになった1年だったと思います。リーグ戦の前には勝浦コテージで合宿を行ったり、学習院大学や東京国際大学と練習試合を重ねて経験を積みました。

夏に行われた平成27年度関東学生テニスリーグでは、第1戦で明星大学に勝利し、続く第2戦では首都大学東京を倒し、決勝トーナメントに進出。決勝トーナメント1回戦では国学院大学を倒しましたが、2回戦で横浜市立大学に敗退を喫してしまったため、今年度のリーグ戦は終わってしまいました。リーグ戦には、OBの方々をはじめ、多くのご父兄の皆様にも応援に駆けつけていただきました。温かいご声援、本当にありがとうございます。部員たちは力を出し尽くし、非常に有意義な経験ができたのではない

ところが始めて5年ほど経ち、それぞれの仕事の都合や結婚といった環境の変化に伴いなかなか集まることができなくなり、せめて年に1度は全員で集まり互いの近況を知る交流の場を作ろうということで、ゴールデンウィークの初日である4月29日を「俺たちの肉(29日)の日」と題し、バーベキューを行なうようになったものです。毎年同じ日に開催することで参加メンバーも事前に予定を立てやすく、毎回ほぼ全員が参加できるよ

うな会となっています。当初は10人そこそこの小規模な集まりでしたが、そこから徐々に友人伝手で噂が広がり、今では30人以上が集まる賑やかな会へと成長しました。今年で約10年を迎える本会ですが、今回同窓会にコミュニティサポート事業があることを知り利用させて頂きました。

今後もこの素晴らしい制度をぜひ活用させて頂きたいと思っています。よろしくお祈りします!!



道体重別選手権大会では、男子個人組手60kg級において森龍斗選手(経済学科2年)が優勝、男子個人組手75kg級では、遠山選手が優勝し、男子5階級中2階級を制覇。女子個人組手68kg級では、竹中梓選手(経済学科4年)が準優勝と見事な成績を上げることができました。しかし、団体戦においては昨年度の成績を上回ることができず、非常に悔しい結果となってしまいました。

空手道部は、同窓会の皆様をはじめ教育後援会及び大学のご支援のおかげでこのたび体育会に所属し、8年目を迎えることとなりました。

本年度は「2015年飛躍の年」をテーマに、男子は遠山大輔主将(経済学科4年)、女子は鼓莉奈主将(経済学科4年)を中心とし、昨年度の成績を上回ることを目指し総勢38名(男子部員26名・女子部員12名)、精神面・技術面等の強化を図り日夜稽古に励んで来しました。

今年度の成績は、第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」空手競技成年男子組手個人軽量級において、千葉県代表で出場した遠山選手が3位入賞を果たし、また、第26回関東学生空手

今年度は個人戦での活躍が目立ちましたが、チームの雰囲気は年々良くなってきています。

次年度に向け新チーム体制となり、より一層チーム力の向上と精神面・体力面、技術面等の強化に励み、個人・団体戦ともに今まで以上に良い成績を残せるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(監督 上妻優介)

Contents 11

Club

空手道部

でしょうか。現在は、部員各自が目標を持ち、来年に向けて練習に励んでいます。来年こそは4部昇格を目指し、頑張っていきたいと思っています。また、今後はテニス部員であること以前に、明海大学の学生であることに自負を持って、学業にも力を入れて部活動をしていくことが重要だと考えています。技術だけでなく、人

間性も備わっていきような指導を心がけたいと思っています。(監督 畠中君代)



Contents 14

Topics

コミュニティサポート事業
【明海大学OBウィナーズ(ソフトボール)】
春季市民大会 ■浦安市今川球技場

男子2部リーグでの春季市民大会、初戦は舞小クラブ戦。HRで先制、2回も2HRで5-0とし、一方的になるかと思われましたが、2回・3回にエラーから4点を返され、4回を終わり5-4の接戦に。しかし、5回・6回に相手のエラーで追加点を奪い、8-4で勝利しました。第2戦は1部常連の浦小OBS戦。初回

タイムリーで2点を先制、2回・4回に追加点を上げるも、相手チームの追い上げで6-5に。最終回の6回に大量9点を奪い、15-5で勝利。秋季大会は1部復帰になりました。2部決勝の美浜ビーチボーイズ戦は、暴投エラー絡みもあり、6-10で敗戦。毎試合選手が入れ替わり、練習もしない中、頑張っている方だと思えます。



Contents 15

Club

ヨット部

林優季(経済学科3年)・木村沙耶佳(経済学科3年) ペアは、7月16日から8月1日までギリシャで開催された2015年470級ジュニアワールド選手権大会に2年連続日本代表選手として出場。世界各国の強豪選手がひしめく中、健闘して42艇中18位という好成績を上げ、次世代を代表するセーリング競技NF指定選手(日本セーリング連盟指定強化対象選手)となった。

ヨット部全体としては、9月に行われた関東学生ヨット秋季選手権大会を予選5位で突破し、第80回全日本学生ヨット選手権大会への出場を決めた。本大会は神奈川県江の島で開催されることから、大会期間中の強風が予想され、例年通り早めに現地入りし事前練習を徹底した。しかし、大会当日にレースが始まってみると、予想していた風が吹かず、そ



れでも第1レースではスナイプ級の活躍で2艇がシングルとなり、1艇が16位計28点で好スタートを切った。しかし、フィニッシュ後にノーレースとなり、ここからの立て直しが厳しくなる。470級も思った以上に苦しい展開となり、レースを消化するごとに順位を下げる残念な結果となってしまった。「焦る気持ち」がコントロールできぬままレースが終了し、総合8位に終わった。

残すは全日本470級ヨット選手権大会のみとなり、この悔しさを一気に払拭したいと考えている。何としても明海大学ヨット部を大学日本一にする。この気持ちで選手を支えていきたい。

(監督 國府田由隆)

Contents 16

Topics

コミュニティサポート事業
【マーリンズOG会(チャリーディング)】
2015/6/27 ■東京八重洲

年に一度の開催が恒例となったOG会を行いました。メンバーには小さな子ども連れが多いため、個室でゆっくり食事

をしながら一人ひとりの近況報告を聞き、また、さまざまな情報交換をしました。子育て奮闘中のメンバーが多い中で、現在も社会人チームでの活動を行なっている人、子供たちの指導をしながら活躍しているメンバーもいました。今後は食事会のみならず、新たな企画も視野に入れていけたらと思います。久しぶりの再会に心弾み、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

Contents 13

Report

サマーキャンプ

9月9日と10日の2日間、群馬県みなかみ町で浦安キャンパス学友会サマーキャンプが行われた。これは、日本人学生、外国人留学生及び教職員等が意見交換を通じて交流を深めるとともに、明海大学をよりよい大学に発展させることを目的に毎年行われているもので、今年は学生・教職員ら約150人が参加した。

1日目は、「明海大学をよりよくするために今できること」をメインテーマに少人数グループに分かれて意見交換を行い、2日目は、それぞれのグループから出された意見の報告会があり、活発な質疑応答が行われた。北原淳同窓会長からは「皆さんはこれからずっと明海大学の卒業生という肩書を背負っていくことになります。それを、胸を張って堂々と言えるように、一人ひとりが明海大学の発展について向き合ってほしい」と激励があった。

参加した学生からは「自分が通っている大学のことを深く知る良い機会でした」「普段あまり接することのない外国人留学生や教職員の方々と意見交換ができて有意義な時間でした」という声がかかれた。



■ ビジネス交流会開催予定

同窓生の輪を人的資源として有効に活用・共有することで、ビジネスにおける問題解決や自己の向上を目的とした実践的交流会です。同窓生皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ビジネス交流会

日時：2016年3月4日(金)20:00～

場所：渋谷 参加費：¥2,000円 *学生無料

対象：会社経営者、個人事業主及び起業を目指している同窓生。同窓生同士のビジネス的な繋がりを求めている方。就活の為にスキルアップを目指す学生。

■お申込み方法

表題に「ビジネス交流会参加希望」と記し、「氏名」「学籍番号」「携帯番号」「業種・会社名」を明記し、info@meikai.com までお申込みください。

*日時、場所の詳細は、HPや明海大学浦安キャンパス同窓会ビジネス交流会FBで追ってご確認ください。

詳細・最新情報はこちらから

明海大学浦安キャンパス ビジネス交流会 公式Facebook

http://www.facebook.com/Meikai.dosokai.Business



■ 引っ越しや結婚など、同窓会会員登録情報に変更はありませんか。住所表記が変わった方もお知らせ下さい。

会員の皆様の情報を把握するために、ホームページ上で登録変更受付をしています。会員情報は会員の皆様への会報や、お知らせをお届けするための連絡先となるものです。情報が変更になった場合は速やかに変更をお願いします。

■登録していただく項目

卒業年度/卒業月/学科/名前/旧姓/学籍番号 (必須)

現住所/TEL/E-Mail

■同窓会ホームページ <http://www.meikai.com/>

■ 同窓会の「コミュニティサポート事業」同窓生の集まりに最大6万円の支援

サポート条件

- ①原則として会員が10人以上で集まるコミュニティであること。
*支援対象者は会員のみ。
- ②パーティーや活動終了後、レポートと参加者名簿を提出すること。
*レポート・名簿ともに既定のフォーマットに記入。
*レポートは、HPや会報に掲載させていただく可能性があります。
*参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて活用いたします。
- ③宗教や政治活動を目的とするコミュニティは対象外。
- ④支援は年度内1回のみ。(同じ人が年2回受けることはできません)

■支援金

3000円/人 *上限60000円(20人相当)

例)参加者15人→45000円支援 参加者25人→60000円支援

■利用の流れ

- ①申込…同窓会ホームページの記載に従い、事務局へ申し込み
- ②承認…理事会の承認を受ける
- ③支援確定…内容に問題がない場合、「支援確定」をメールにて連絡
- ④実施…代表者が参加者の現住所を確認、レポート作成
- ⑤提出…実施後2週間以内にレポートと参加者名簿を事務局へ郵送
- ⑥支払い…代表者へ振込

Contents 18

editorial note 編集後記

今号は、同窓会事業のひとつ「夢プロジェクト」をメインに取り上げました。2015年度の夢プロジェクト採用学生グループ「チームレジェンド」が企画し、オリンピック出場選手である岩崎恭子さん、山崎一彦さんを招いてのパネルディスカッションは、北原淳同窓会長の進行のもと、白熱したものとなりました。ゲストお二人から競技者としての姿勢、東京オリンピック・パラリンピックに寄せる期待、そこに明海大学が寄与する可能性といったことが語られるたび、会場に詰めかけた来場者の皆さまが大きくうなずいている様子が印象的でした。「チームレジェンド」として、企画実施までの道のりは大変であったと思いますが、その分やり遂げた達成感は大きいはず。この成功体験を糧に、今後も自らが設計する夢を実現していただきたいと願います。

最後に、この会報を多数の同窓生の皆様に読んでいただき、感想などがありましたらぜひ、同窓会事務局にご連絡いただければ幸いです。

(広報担当：磯見隆行)

参加者・アイデア募集しています!!

① 事業サポーター

自分の仕事やスキルを活かし、同窓会や大学の活動に協力していただける方を募集しています。年数回のミーティングに出席いただき、ご意見をディスカッションしていただきます。

② 「何かひとつ」～大学の為にできること～

「自分の等身大の力で大学の為に出来ること」を教えてください。良い企画ならば、本会で予算を捻出し、実現に向けて動きます。

いずれも、同窓会事務局アドレス (info@meikai.com) に、氏名・出身学科・電話番号・住所・ご職業を明記してご連絡ください。*②はアイデアも添えて。

